

# 白南中だより

教育目標 創造 挑戦  
育てる力 主体性  
たくましさ  
心の回復力  
令和5年2月22日(水)  
新潟市立白南中学校 発行

卒業おめでとう！ よくがんばったね



コロナに負けず頑張った3年間

校長 和泉 哲章

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。過ぎてみるとあっという間の3年間だったのではないのでしょうか。みなさんが、入学したとき、これまで誰も経験したことのない新型コロナウイルスの世界的大流行の始まりでした。入学式に先輩たちの姿はなく、生徒会長の歓迎の言葉は映像で流されました。全国一斉休校、分散登校なども経験しました。マスク、手指の消毒、密を避けることが欠かせない日常がやってきました。部活動の大会も中止になり、ろくに部活動をやらないうちに夏を迎えました。日本中で様々な営みが中止に追い込まれました。本当にこれでいいのか。今しかないこの時を何とかしたいという強い思いから、感染対策を講じて体育祭を実施。そして9月には、当時の3年生が方面を県内に変更して修学旅行を実施。マスクをしながらの合唱発表も実施しました。修学旅行をどうするか、何度かPTA役員で集まって相談しました。「止める」という意見はありませんでした。どうしたらできるか、ポジティブな話し合いを重ねました。結果として、この3年間で中止した学校行事はありませんでした。そして、この3年間で、授業日における休校や学級閉鎖になった日数は、わずか4日でした。市内でも極めて稀有なことであり、ラッキーでした。しかしこのラッキーは、地域、家族を含め一人一人が普段から注意し、感染状況が比較的落ち着いたこと、「願い」を共有し、学校も保護者も地域も覚悟を決めて乗り越えてきたことが大きな要因でした。「学校運営協議会」も大きな後押しをしてくれました。感染状況が悪く、みなさんの理解が得られなかったらできなかったことです。心から感謝しています。

とはいえ、コロナ前に比べれば、様々な制限を受けての毎日でした。しかし、元気が強みの3年生は、よい仲間を得て、励まし合いながらよく頑張りました。本当に仲がよいのです。今年度は、生徒会活動でも学校行事でも部活動でも下級生をよくまとめ成果を上げてくれました。学習面でも年々力をつけてきました。2年生で取り組み、現2年生も取り組んだ「大好きにいがた・南区地域福祉アクションプラン実現に向けた取組」は、今年度、文部科学大臣表彰を受けることができました。創立20周年という記念の年に輝く金字塔を打ち立ててくれました。

卒業生のみなさんの3年間の頑張りに拍手を送るとともに、これからのみなさんの健康と活躍を心から願っています。



子ども食堂、認知症予防クイズ  
福祉課題解決へ提案  
南区・白南中生 住民らに発表

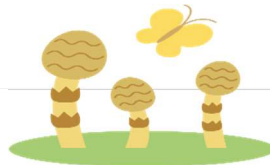
新潟市南の白南中学校で、地域福祉の課題に対して生徒が考えた解決策を発表が開かれた。2年生4人が、健康寿命の延伸と認知症予防の共生の分野で企画を提案した。



地域の福祉課題の解決につながる企画を提案する白南中の生徒たち＝新潟市南区

区が本年度から力年で、推進する「南区地域福祉アクションプラン」の実現に向けて、中学生の立場から参加するの狙い、区社会福祉委員も招かれた。生徒は認知

大好きにいがた～南区地域福祉アクションプランの実現に向けて～発表会の様子を伝える新潟日報（令和3年10月17日）



新型コロナウイルスの開催理解を深め、白南中や共働き家庭の子どもを助ける「地区ハリソンビックの開催」のアイデアを発表。「高崎」杉山先生は「子どもが触れ合うこと、寄り添い、身の回りのお手伝い、思いを語った。読者の「たいと感した」と話した。

# 予防と授業 どう両立

## 県内小中学校再開



### 間隔空け入学式 ■校内放送で始業式 教員、保護者に戸惑いも

約1カ月ぶりに子どもたちを迎えた学びやは、新学期への期待と新型コロナウイルスへの警戒感が交錯した。6日、県内の入学式や始業式は、東京などで感染者が急増し緊迫の度合いが増す中、教職員からは「感染予防と教育活動をどう両立すればいいか」と戸惑う声が上がっており、再開に不安を感じる保護者もいた。

在校生や来賓を呼ばず、新入生約40人、保護者、教職員のみが出席した白南中（新潟市南区）の入学式。座席の間隔を空けた他、在校生の歓迎の言葉は映像で流され、マスク姿の新入生が見えた。

息子の晴れ姿を見詰めていた小林貴樹さん（49）は「休みの間、運動不足にならないよう近所を走らせたら、学校が始まるのはありがたい。学校が始まるのはありがたい。学校が始まるのはありがたい。学校が始まるのはありがたい。」

新型コロナウイルスの感染予防策として出席者を減らして行われた白南中の入学式は6日、新潟市南区

卒業生の入学式の様子を伝える新潟日報（令和2年4月7日）



がたいが、全国的に感染が拡大している中で不安はあると打ち明けた。

## 卒業式のマスクについての基本的な考え方

- 児童生徒及び教職員については、入退場、式辞、祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とする。
- 来賓や保護者等はマスクを着用するとともに、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で参加人数の制限は不要。

上に示したことが、国から示された卒業式におけるマスクについての基本的な考え方そのままです。現在、市内及び当校においても感染状況が落ち着いていることから、この基本的な考え方に基づいて卒業式を行います。なお、歌を歌う場面については、マスクを着用するとともに、基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスク着用を希望したり、また、健康上の理由によりマスクを着用できない場合は、マスク着脱を強制することはありません。マスク着用の有無による差別偏見等がないよう今後とも指導してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 卒業証書の割印は廃止しています

当校では、令和3年度より卒業証書の割印を廃止しています。割印については、習慣的に押印してきましたが、法的根拠がなく、卒業生台帳のデジタル化の観点から廃止しました。卒業生並びに保護者のみなさんには予めご理解をお願いします。

## 学校運営協議会を終えて

2月9日に今年度最後の学校運営協議会が行われました。詳細については、2月16日に配付した「白南中C・S通信」のとおりです。委員の皆様から闊達なご意見をいただき、「すべての行事に参加したがどれも素晴らしかった。」「地域を中心とした学びが行われていて、地域住民として感謝している。」「コロナ禍にもかかわらず、素晴らしい成果を上げた。」などの意見がありました。また、保・幼・小・中学校をとおして子どもたちの発達段階に応じた「自立」がやはり課題であるということが取り上げられました。困らないように、失敗させないようにと大人が先回りせず、自分のことは自分でさせる、自分で言わせることが大事ではないかといったことが話題になりました。

なお、「白南中C・S通信」でお知らせしたように来年度の学校運営の方針が承認されました。

